

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教 科	数学	科 目	数学研究	単位数	3単位	学 年	3学年
教科書	自作プリント	副教材等	数学就職問題集（愛媛県高等学校教育研究会）				

1 学習の目標

1・2年生で学習した高校数学の基礎的・基本的な知識および技能の確実な定着を図り、数学における概念や法則についての理解を深め、それらを的確に活用する能力を身に付け、それらを活用する態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	数と式	・指数法則や因数分解の公式などをしっかり復習し、計算力・応用力つけます。	
	集合と命題	・集合の考え方をもとに、条件や関係を整理し、論理的に正しいかどうかを判断・説明する力をつけます。	
	2次関数	・2次関数に関するいろいろな問題の演習を行い、応用力をつけます。	
第2学期	図形と計量	・三角比の相互関係などの復習をし、正弦定理・余弦定理を再確認して応用力をつけます。	
	データの分析	・分散や標準偏差、散布図や相関係数などを扱い、データを整理・分析することを学びます。	
	場合の数と確率	・様々な問題を解くことで、確率の問題パターンを整理し、応用力をつけます。	
第3学期	図形の性質	・図形における様々な定理について復習し、図形の問題の応用力をつけます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。

【思考・判断・表現】

数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、関数に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し適切な手法を選択して分析し問題を解決する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学の重要性を認識し、数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて粘り強く考え、判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

4 評価方法

学期ごとに、評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、単元テスト、振り返りシート、課題プリントについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

復習を確実に行いましょう。授業中に理解できなかったところは、その日のうちに授業担当教員に質問するなどして理解に努め、日々の学習内容を確実に理解しましょう。演習で解けなかった問題については、答えを見て解けるようになった後でも、同じ問題を何度も解いて内容を定着させるようにしましょう。